

公募の概要

公募の概要は、次のとおりです。詳細については、総務省の SCOPE のホームページ「http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/scope/」の提案要領等をご覧ください。

1. ICTイノベーション創出型研究開発

総務省が設定したICT分野の研究開発重点領域において、独創性や新規性に富む基礎的・萌芽的な研究開発課題を公募します。各領域の概要は下記のとおりです。

【研究開発重点領域Ⅰ：新世代ネットワーク技術】

次世代、さらに、その先の将来に向けて、我が国の情報通信ネットワークを世界最高水準に維持するために必要な技術です。我が国が持つ光・モバイル・デバイスなどのコア技術の国際的優位性を維持強化できるネットワーク技術や、世界の ICT の発展にリーダーシップを発揮する最先端基礎技術が含まれます。

【この領域に含まれる研究開発プロジェクト】

新世代ネットワークアーキテクチャ、ユビキタスマビリティ、新 ICT パラダイム創出、ユビキタスプラットフォーム

【研究開発重点領域Ⅱ：ICT 安心・安全技術】

社会経済活動の基盤となる ICT ネットワーク自身の安心・安全を確保する技術や、ICT により広義の安全保障を確保し、安心・安全な社会環境を実現する技術が含まれます。

【この領域に含まれる研究開発プロジェクト】

セキュアネットワーク、センシング・ユビキタス時空基盤、ユビキタス&ユニバーサルタウン

【研究開発重点領域Ⅲ：ユニバーサル・コミュニケーション技術】

個の知的創造力を増進することができるコンテンツ創造技術や、言語、文化、身体能力等の壁を超越することができるコミュニケーション技術が含まれます。

【この領域に含まれる研究開発プロジェクト】

高度コンテンツ創造流通、スーパーコミュニケーション、超臨場感コミュニケーション

- 研究費：単年度1課題あたり2,000万円を上限とする(間接経費別途配分)
- 研究期間：最長3ヶ年度

2. ICTイノベーション促進型研究開発

総務省が設定したICT分野の戦略的な研究開発重点領域において、大学などが既に有する「イノベーションの種」である有望な技術を、着実に「実」に育て上げることを促進するために、実用化に向けた開発・実証フェーズにある研究開発課題の提案に対して研究資金を支援します。

- 研究費：単年度1課題あたり5,000万円を上限とする(間接経費別途配分)
- 研究期間：最長3ヶ年度

3. 若手ICT研究者育成型研究開発

ICT 分野の研究者として次世代を担う若手人材を育成するために、若手研究者（個人またはグループ）が提案する研究開発課題に対して研究資金を支援します。

- 提案できる研究者の要件：研究開始年度の4月1日現在で以下のいずれかに該当する者
 - (1) 35 歳以下の研究者
 - (2) 40 歳以下の研究者であって、出産・育児・社会人経験等、研究に従事していない期間について研究提案書に記述し申請する場合
 - (3) 40 歳以下の研究者であって、過去5年以内に博士号を取得した研究者なお、グループで提案する場合は、研究者全員（研究代表者、研究分担者）が上記のいずれかの条件を満たすこと。
- 研究費：
 - 提案区分A：単年度1課題あたり 500 万円を超え 1,000 万円以下（間接経費別途配分）
 - 提案区分B：単年度1課題あたり 500 万円以下（間接経費別途配分）
- 研究期間：最長3ヶ年度

4. 地域ICT振興型研究開発

ICT の利活用により、地域固有の社会的・経済的課題を解決し、地場産業の振興や創出、地域住民の生活向上など地域社会・経済活動を活性化するために、地域の大学や中小・中堅企業、地方自治体の研究機関等に所属する研究者が提案する研究開発課題に対して、研究資金を支援します。

- 研究費：単年度 1 課題あたり 1,000 万円を上限とする（間接経費別途配分）
- 研究期間：最長2ヶ年度

5. 国際競争力強化型研究開発

我が国の優れた ICT の国際競争力を戦略的に向上させていくために、国際標準となる可能性の高い技術など、将来的に国際市場の開拓が見込める技術の研究開発について研究資金を支援します。

- 研究費：単年度1課題あたり 3,000 万円を上限とする（間接経費別途配分）
- 研究期間：最長3ヶ年度（ただし、研究開発終了までに標準化提案した、または、提案が確定している場合には、評価を経て、引き続き最長2年間の延長が認められることがある。）